

四郷ジュニアスポーツ・カルチャークラブ

JSC クラブだより

第4号

文責 奥村

R7年7月4日

わくわく事業活動の現場訪問がありました！

わくわく事業活動というのは、地域資源（人材、環境、文化や自然）を活用して地域の課題解決や活性化に取り組んでいる団体の事業を支援している活動で、井郷コミュニティの行政区の方や地域の方々に認められ、支えられた活動です。その一環として、四郷ジュニアスポーツ・カルチャークラブは、今では小学校になくなってしまった部活動の機会を与えられていて、4年生以上の児童86名が3種目に分かれて活動しています。



【熱中症アラート発生時 サッカー部も体育館で練習】



猿投支所の地域振興課の柴田様が、6月17日（火）に四郷 JSC クラブを訪問されました。柴田様は「4年生以上の児童の多くが暑い中、明るく元気に活動されていました。今年度から体育館に冷房設備が設置され、活動しやすく怪我や熱中症のリスク管理も徹底されており、安全に活動ができていると感じました。世代間交流や子供たちの体力づくり、居場所づくりにとても良い事業であるため、今後も継続していただけたらと思いました。」と感想をいただきました。



【日ごろ指導していただいている指導者より】

種目	名前	前半を指導しての感想と休み中の過ごし方
サッカー部	大野 克彦	4月から始まったサッカー部の練習もあつという間に夏休みを迎えようとしています。当初は手以外の部分でボールをコントロールするのに悪戦苦闘していた子も今では笑顔で楽しそうに練習をしています。粘り強く練習する姿にたくましさを感じています。9月からはこれまでの練習を生かしゲーム形式の練習を入れていきます。お楽しみに！
バスケットボール部	戸嶋 義昭	指導して3年目になりますが、例年に比べて真面目に練習に取り組んでいて、プレー全体にレベルも高く感じられます。今やっている練習を最後まで続けてほしいです。夏休みはドリブルの強化、スピードを生み出すための膝を柔軟にする運動をしてください。
バスケットボール部	後藤 恒敏	4月から基本を中心に練習してきました。先日からシュートが入るようになり上達を感じました。一生懸命に練習してきた成果です。今後はゲーム形式の練習をしていきます。 夏休み中はバスケの本を読んだり、インターネット等でバスケの動画を見たりしてバスケにも親んでいきましょう。9月からも共に頑張りましょう。
金管ファンファーレ部	松浦 宏美	トランペット、トロンボーン、ユーフォニアムに取り組んでいます。音出しに戸惑っていた子も練習を重ねるたびに出来る音が増えてきています。毎回の練習では音階のロングトーン、3度の練習をしてから曲の練習をします。それぞれの音の出し方や息の使い方がうまくなったときにいい笑顔が見れた時は嬉しさを感じます。夏休みに楽器を持ち帰る子は取り扱いに充分留意してください。また、いろいろな音楽に触れる体験をしてください。お家の方のご協力をお願いします。

連絡：・猿投支所広瀬支所長より、ダニや蚊媒感染症、熱中症に対する注意喚起の連絡がありました。JSCでは暑さや児童の状態を確認しながら活動を進めています。水筒の水が不足している子も見受けられるので、JSCの活動がある時は多めの水分を持たせてください。

・7月15日（火）で一旦、四郷 JSC クラブの活動ができなくなります。金管ファンファーレで楽器を持ち帰って練習する人は家の方に持ち運びを依頼してください。下校時刻 16 時 40 分です。再開日は9月5日（金）からです。